



商品例：浮きドック

- 本社所在地：広島県呉市仁方本町3-7-12
- 事業概要：船体ブロック製造および台船・浮きドックなど海洋構造物の製造・販売
- 常時使用する従業員：54名（令和8年2月時点）
- 現在の売上高：17.3億円（2025年4月期）
- 法人番号：1240001026894
- Web：https://teraoka-hiroshima.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
齋藤 憲司

呉市から国内・海外へ、でっかい“ものづくり”で社会を盛り上げる。

当社は創業以来、船体ブロック、浮きドックなどの大型鋼構造物の製造を通じて、海洋産業の発展に貢献してきました。今後は、曲げ加工などの新規事業を柱に、修繕・改造分野での高付加価値化を進め、売上高100億円の達成を目指します。社員一人ひとりの成長と地域との共生を大切にしながら、持続可能な未来を創造してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

目標達成年：2040年度（令和22年度）
2040年の売上高100億円達成に向け、主力である台船・改造船製作事業を拡充し、曲げ加工などの新規事業を立ち上げることで、事業領域の拡大を図る。
また、浮きドックの拡張によって大型修繕案件の受注を増やし、海外発注から自社製造へのシフトによる利益率向上を目指す。

課題

- ・約200名の人材確保（目標：社員98名、協力会100名）
- ・設備投資の資金調達と実行管理
- ・工期短縮・工程効率化
- ・差別化技術（水プラスト、溶接自動化等）の導入

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

海洋構造物の製造・修繕分野における競争力を活かし、以下の具体的な成長手段を通じて、2040年度までに売上高100億円の達成を目指します。

1. 設備投資による生産体制の増強
2. 海外展開と販路拡大
3. 新事業・新分野への進出
4. 人材戦略と組織体制の強化
5. 先進性・成長性の確保

実施体制

- ・社長直轄での営建・製造事業部を中心に、設備投資・新規事業推進に対応するプロジェクト体制を構築。各部門に部長級人材を配置し、責任者・経理・採用・技術・営業の役割分担を明確化。
- ・自社浮きドック増設や曲げ加工工場の新設に伴い、製造事業部内に専門グループを立ち上げ、協力会社との連携体制を強化。
- ・海外発注から自社製造へのシフトに対応するため、技術部門において設計・加工・修繕の内製化体制を整備。